

まだ見ぬ世界へ

美崎理恵

登場人物

タカ

ミ

ケイ

チャコ

012

都会。高層ビルや高層マンションが建ち並ぶ街。飲食店や映画館、劇場、カジノなど娯楽施設があり、昼も夜も多くの人々が行き交っている。そんな賑やかな通りを少し入ったところに寂れた公園がある。数本の枯れ木。低木。雑草。形の違う古びたベンチが数個。人通りもなく、街と同じエリアとは思えないぐらい殺風景な風景。

タカがベンチに座っている。少し離れたベンチではミーが眠っている。

タカ　いや、別に嫌いじゃないよ。俺に向いてると思ってる。でも何かこう……ささやかでもいいからワクワクするような、そういうあれがあってもいいと思わないか？

と、ミーを見ると眠っている。

タカ　お前、寝るなよ……俺の前で寝るなよ……。ま、いいけど？　いいけどさあ……でも、寝るなよなあ、俺の前で……

ケイが走って登場。

ケイ　タカ！

タカ　おう。

ケイ　頼む。

タカ　またかよ。

ケイ、ベンチの後ろの低木の茂みに隠れる。

タカ　お前、もうそろそろそういう生き方やめたら？

ケイ　穴でも掘れってか。

タカ　ああ、弟子にしてやるぞ。

ケイ　私、明るくて賑やかな場所が好きなんだよね。

タカ　そりゃ見た目は地味かもしれないけど――

ケイ それより早く座って。来るよ。
タカ はいはい。

タカ、低木の前のベンチに座る。

タカ どんな奴だよ。

ケイ ……

タカ 無視かよ。

ケイ ……来た！

012登場。キョロキョロと辺りを見回し、タカに近づいて来る。

012 あの……

タカ ん？

012 今、誰か来ませんでした？

タカ いや。

012 女性が走って来たと思うんですけど、たった今。

タカ たった今？ いや。さっきからずっとここにいるけど……いや。

いつの間にかミーが目を覚ましている。012を見て、

ミー わお……

012 (ミーに) あ、すみません、今、誰か来ませんでした？

ミー、低木の方を見る。

012 あっち？ (と低木の方を指差す)

ミー、頷く。

タカ （慌てて）あ、こいつね、さっきまで寝てたの。たった今起きたところ。だから何も見てないと思うよ。

ミー、低木の方へと歩く。

タカ おい。

ミー、低木の傍まで来る。

タカ あ、そうだ！ 見たかも！

012 見ました？

タカ 見た見た。あっちへ走ってった。あっち。（と言って、あっちの方向を指差す）
012 あっち。ありがとうございます。

012、足早に去る。

ミー もう、いい男だったのに……

タカ お前、仲間売る気かよ。

ミー いい男にだったら売っちゃう。

タカ お前なあ……

ケイの声 出ていい？

タカ ああ。

ケイ、隠れていた低木の茂みの中から出て来る。

ケイ ちょっと、ミー。見つかるそこだったじゃない。

ミー 見つければよかったのに。

ケイ はあ？

ミー 話がしなかったなあ。

タカ そんなにいい男だったか？

ミー (ケイに) あんた本当に追いかけてたの？

ケイ 私を探しに来てたじゃない。

ミー 悪い人には見えなかったけどなあ。

ケイ 尾行されてたんだよ？

ミー だからってヤバイ人とは限らないじゃない？ (大きなあくび)

ケイ いい人とも限らないじゃない。

タカ だから、そういうことだよ。

ケイ 何？

タカ こういうことになるだろ？ だからやめろって言ってんの。

ケイ 意味わかんない。

タカ お前のその、自分の後ろを歩く奴はみんな敵みたいな考え方だよ。

ケイ じゃタカは、そんな汚い仕事やめちまえて言われたらやめる？

タカ 汚いはないだろ。

ケイ 例えだよ。

タカ 俺にはやめる理由ないし。

ケイ 私にだってやめる理由ないし。

タカ 追いかけてただろ。

ケイ つかまんなきやいいじゃん。

タカ それこそ意味わかんないわ。(ミーに) な。

ミー、ベンチにもたれて眠っている。

ケイ はははは！ 寝てる。

タカ 何で俺の前で寝るかなあ……

ケイ ねえねえ、前から聞いてみたかったんだけど、初めて会った時はどうだったの？

タカ 初めて会った時？

ケイ 寝てた？ 起きてた？

タカ 寝てた。

ケイ はははは！

チャコ登場。大きなリュックを背負い、両肩からクロスに大きなショルダーバッグを提げている。カバンに囲まれているその姿はどこか滑稽。

タカ あ、チャコだ。チャコ！

チャコ おお。

ケイ どこ行くの。

チャコ 乾電池がなくなった。

タカ そりゃ大変だ。

ケイ 停電になったら困るもんね。

チャコ ああ。

チャコ、そのまま素通りして去って行く。

ケイ ねえ、カバン、また大きくなってなかった？

タカ リュックもでかくなった。

ケイ あれじゃあ何かあっても反対に生き残れないよね。

タカ、ケイを見る。

ケイ 何。

タカ お前もこのままじゃ生き残れないぞ？

ケイ うるさいなあ、さっきから。人の生き方に口出さないでくれる？

タカ だったら助けを求めて来るなよな。真っ当な生き方しろよな。

ケイ え、それ面白い？

タカ 面白くないやいけないか？ 面白い必要があるか？

ケイ つまんないなあ。

タカ つまなくても追いかけるよりましだろ。

012が戻って来ている。ケイを見つけて微笑んでいる。ミーが目を覚ます。012を見て、

ミー わお……

ケイ (ミーの声に) え？

012 見つけ。

ケイ あっ。はは……えっと、ちょっと待っててくれる？ 逃げないから。待ってて。

012 はい？

ケイ タカ、貸して。

タカ あるわけないだろ。

ケイ ミー。

ミー また会えた。

ケイ ンもうっ！

タカ こいつ、ちゃっかり起きてるよ。

ケイ (012に) えっと……

012 見つかりました？

ケイ は？

012 さっき向こうで何か探してたましたよね？見つかりました？

ケイ ん？

012 まだならいっしょに探しますよ？ お手伝いさせてください。

ケイ お手伝い……

タカ おい。

タカ、ケイを引っ張って012から離れる。

ミーは012を値踏みするように見て「こんにちは」などと声をかける。「こんにちは」などと笑顔で応える012。

タカ 違うんじゃない？

ケイ かも。

タカ 何探してたよ。

ケイ お金。落ちてないかなあって。

タカ 探すなよ。お金は落ちてるもんじゃないからな。

ケイ ギャンブルで稼ぐもんだよね。
タカ だからそういうところ――

チャコが戻って来る。

ケイ あ、チャコ。

012 （チャコを見て）あつ。

ケイ チャコ。乾電池あった？

チャコ あった。

ケイ よかったね。

チャコ うん。

ケイ チャコ。

チャコ は？

ケイ 今いくら持ってる？

チャコ ない。

ケイ ちよっと財布の中、見てみて。

チャコ ない。

ケイ そう言わずにさあ。

チャコ ない。

チャコ、下手へと去ろうとする。と、012、チャコの元へと走り寄り、カバンに手をかけようとする。

チャコ 何をする！

チャコ、カバンたちを抱えて012を警戒する。

012 大丈夫ですか？ 重たくないですか？

チャコ は？

012 重たい、重たいですよ、重たいに決まっています。持ちます。

チャコ 大丈夫。

012 僕も大丈夫です。

チャコ は？

012 僕も大丈夫です。持ちます。

チャコ これ、私の荷物。

012 僕はあなたの荷物でも大丈夫です。

チャコ あんたは大丈夫でも私は大丈夫じゃない。

012 盗もうとかそういうのではありません。

チャコ 私もそういうことじゃない。

012 だったら持ちます。

チャコ え？ 反対に何で持ちたい、私の荷物。

012 あなた、僕が荷物を持ってあげたら助かるじゃないですか？

チャコ それだけの理由で？

012 ほかに理由が必要ですか？ 探します。

チャコ 探さなくていい。どんな理由も必要ない。

012 あ、

チャコ は？

012 もしかして、夢が入ってるんですか？

チャコ 夢？

タカ 夢？

012 人間は夢を大事にします。

チャコ おちよくってる……

012 いいえ。

チャコ 絶対おちよくってる！

012 おちよくってません。僕はただ、その重たい荷物を持って、あなたを助けたいだけなんです。

チャコ そもそも助けは必要ないとさっきから言っている。

012 では僕があなたのお役に立てることは――

チャコ ない。

012 何か――

チャコ ない。

012 何も――

チャコ ない。

012 (何か言おうとして)――

チャコ ない。

012 (何か言おうとして)――

チャコ ない。

ケイ はい！

ケイ、手をあげて、012の前に。

ケイ 役に立ちたいの？

012 僕はあなたの役に立てますか？

ケイ うん。

012 ありがとうございます。何でも仰ってください。

ケイ 何でも？

012 はい。

ケイ じゃ、お金貸して。

012 お金。

タカ お前なあ……

ケイ (タカに) 何でもするって言ったもん。(012に) くれてもいいよ。

012 すみません、僕、お金、持ち歩かないので。ピツて。(手首をかざす仕草)

ケイ ピツ。ってことは現金ない。

012 はい。

ケイ チッ！ 役に立たないじゃん。

012 すみません。

ミィ (012に) アン、あなたは謝らなくていいの。謝るのはこっち。ごめんなさ

いね。彼女はいつもああなの。お金のことしか頭になくて。

ケイ お金、大事だもん。

ミィ 初対面の人にも簡単にお金貸してなんて言っちゃうの。失礼よね。

ケイ 難しく言おうか？

ミー でも大変なのよ、彼女も。ヤバい人たちに追いかけて、今、死んだことになってるの。

012 はい？

ミー お葬式まであげたんだから。

012 生きてるのに？

ミー うん。

012 どうしてまた。

ミー 借金。

012 借金。

タカ ギャンブル。

012 ギャンブル。額は大きいんですか？

タカ ゼロが五つ？ 六つ？

ケイ 七つ。

タカ いつの間に！

ケイ いつの間にだよね、私もびっくり。

012 え、返せるんですか？

ケイ 返せないから死んだふりしてるんじゃない。

012 なるほど……。え、どうやって。

ケイ ん？

012 死んだふりはどうやって。

ケイ 遺書書いて、ビルの上に置いて、靴もそろえて置いて、飛び降りた。

012 え、ビルから？

ケイ うん。

タカ 20階からね。

012 20階！

ケイ うん。

012 え、今、生きてます？

タカ 目の前にいるだろ。

ケイ あ、でもね、私、時々思うんだ。もしかして私、死んでる？って。

タカ は？

ミー あ、それ、私も時々思う。ケイ、本当は死んでるんじゃないかって。タカ どういうことだよ。

ミー だって、お金の感覚なくなってる？

ケイ なくなってる。

ミー 借金怖いって思ってるじゃない？

ケイ 思ってる。

ミー あんなに怖がってた取り立て屋も全然怖がってないし。

チャコ むしろ楽しんでいる。

ケイ・ミー そう。

ミー もう死んでるから、何が起きても怖くないのよ。

タカ そうなの？

ケイ かもねー。

タカ えー？

012 あ、怖くなかったんですか？ ビルから飛び降りるの。

ケイ ああ、あの時ね……、一か八かだったんだよね……

012 一か八か。

ケイ このまま生きててもいいことないなら死ぬ。ここを乗り切って楽しいことが待ってるなら死なない。そう思って飛んだら死ななかった。だからもう私、人生楽しむしかないなーって。

タカ なんか違うだろ。

012 ギャンブラーですねえ。

ケイ でしょ？ 私、やっぱりギャンブラーなんだよ。

タカ お前、今生きてるのは偶然だからね。

ケイ 偶然、大事。偶然も才能のうちだから。

タカ いつか捕まるぞ？

ケイ かもねー。でも大丈夫。これからも上手に隠れて生きるから。

チャコ はっ。

ケイ 何。

チャコ 言い訳ばかりだな。

ケイ は？

チャコ いつまでそんなこと続けるつもりだ。生きてるのバレバレだぞ。

ケイ はあ？

チャコ 死んでるのか死んだふりしてるのか、そんなの好きにすればいいが、生きる以上はこそこそせずに堂々と生きな。

ケイ 堂々と？ はは、どの口が言う。

チャコ はあ？

ケイ 臆病者のチャコに言われたかないね。(012に) ねえ、チャコのあのカバンの中、何が入ってると思う？ この不安だらけの世の中から身を守るためのものが入ってるの。それがもうどんどん増えちゃって、来年の今ごろはチャコちゃん、カバンに埋もれて消えちゃうぞ。

チャコ 私はあんたみたいに行き当たりばつたりの人間じゃないから。

ケイ 用心深くそんなもの持ち歩くより、身軽になっっていつしよに楽しく遊び回ろうよ。

タカ 楽しく遊び回って、生きてるってわかったら殺されるぞ。

ケイ ギャンブルで死ぬるなら本望だよ。

チャコ 哀れだ。

ケイ は？

チャコ 哀れでしかない。

ケイ 私のどこが哀れよ。

チャコ 哀れと気づいてないところがまた哀れだ。

ケイ カバンがないと家から一歩も出られないチャコの方がよっぽど哀れじゃない。
チャコちゃん、哀れ！

チャコ 言ったな。

ケイ 言ったよ。もう一回言おうか？ チャコちゃん、哀れ！

と、チャコ、カバンを抱えてケイに突進していく。ケイ、逃げる。タカが二人を追いかける。

タカ はいはいはいはい！

ミー はははは！

012 大丈夫ですか？

ミー 大丈夫大丈夫。あの二人はよくあやって遊んでるの。で、タカが追いかける。放っとけばいいのにね。

012 あれ、遊んでるんですか？

ミー ねえ、それよりあなた、役に立ちたいの？

012 はい。

ミー 私の役に立ってみる？

タカ (喧嘩を止めながら) お前、さっきまで寝てたくせになんだよ！

ミー (012に) 私、眠り姫なの。

012 眠り姫。

ミー 一日中、寝て過ごすの。

タカ 睡眠障害な。

ミー (タカに) 眠り姫よ！(012に) でね、いい男が現れると目が覚めちゃうの。

ケイ (掴み合いながら) でもってタカの前では寝てる！

タカ おい。

チャコ (掴み合いながら) 絶対に目が覚めない！

タカ おい。

ケイ、チャコ、ミー、大笑いする。

タカ 何だよお前ら……

012 もつられて笑う。

タカ お前は笑うな。

012 あ、すみません……

ミー アン、気にしないで。彼、すぐ拗ねるんだから。

タカ (ケイとチャコに) 俺、拗ねるか？

ケイ、チャコ、頷いたり、「拗ねてる拗ねてる」と言ったり。その中で、

012 (ミーに) あ、僕がお役に立てることって……

ミー あなたは何もしなくていいの。

012 何も？

ミー 何も。

タカ おい、やばいぞ。逃げろ。

012 はい？

ケイ 逃げろ。

チャコ 逃げろ。

ミー 私、あなたに噛みつきたい。

とミー、012の首に噛みつく。が、

ミー ギャーッ！

ミー、跳ぶように離れて口元を押さえる。

タカ どした？

012 大丈夫ですか？

ミー あなた何！？

012 あ……

ミー ねえ、私、齒、欠けてない？

タカ・ケイ・チャコ えっ！

タカ、ケイ、チャコ、ミーの周りに集まり、口の中を覗き込む。

タカ あ！

タカ、ケイ、チャコ、大笑い。

ミー　ねえ、どうなってる？

ケイ　欠けてる！

ミー　やっぱり！？

タカ　（笑いながら）いや、欠けてない欠けてない！

ケイ　（笑いながら）うん、大丈夫大丈夫！

ミー　ほんとに？

チャコ　欠けてる。

ミー　どっちよ！

チャコ　薬あるぞ。

チャコ、ショルダーバッグの中から塗り薬を取り出す。

ケイ　え、でも何で欠けたの？

012　すみません！

012、頭を下げる。タカ、ミー、ケイ、チャコ、012を見る。

012　すみません、僕、ロボットなので。

タカ・ミー・ケイ・チャコ　は？

012　A Iロボットなので。

ミー　A Iロボット！

012　はい。

タカ、ミー、ケイ、感嘆の声をあげながら今度は012の周りに集まる。チャコはショルダーバッグの中から傘を取り出して012に向け、一人警戒する。

タカ　ロボット！？

012　はい。

タカ　マジで？

012 はい。

ケイ すごつ。初めて見た！

ミー 私も。噂には聞いてたけど……

012 皆さん、気がついてないだけです。たくさんロボットが人間に交じって働いてます。きつとどこかで出会っているはず。

タカ 全然わかんないよ。まるで人間だよ。

012 ロボットもどんどん進化してますから。

ミー (喜んで) ねえねえ、私、AIロボットに惚れたの？ なんかすごくない？ 私まで進化したような気がしちゃう。

チャコ (傘を012に向けて) 騙されるな！

ケイ チャコ。

タカ おいおい。

チャコ 何しに来了。何でAIロボットがこんなどこにいる。ここはあんたたちエリートが来るようなところじゃない。

012 一人になれる静かな場所を探してまして。

チャコ 道に迷ったか。

ケイ AIロボットが道に迷うわけじゃないじゃない。

ミー たまにはゆっくりしたいわよね、人気者だから。

012 重宝がられてるだけです。僕たちロボットは人間にとって役に立つ存在なので。

ミー ねえ、どんな役に立ってるの？ お仕事、何してるの？

012 今は無職です。

チャコ 役に立ってないじゃないか。

012 だから、誰かのお役に立ちたくて――

チャコ 何でそんなに役に立ちたい。

012 そういう風にプログラムされているんです。

ケイ ねえ、ロボットはみんな優秀なの？

012 優秀な者もいれば、そうでない者もいます。ロボットだからといってみんながみんな優秀というわけではありません。

タカ 君は？

012 さあ、どうでしょう。それは人間が判断することなので。

チャコ 優秀なら無職ではないはず。

012 ロボットにはロボットの事情がありまして……

チャコ クビになったか。

012 ちょっと違います。

チャコ 仕事で失敗した。

012 してません。

チャコ 悪いことをした。

012 してません。

チャコ これからする。

012 しません。

チャコ じゃああれか。私たちと同じ、うだつの上がないロボットか。

ミー 私たちといっしょにしないの。

チャコ これまでどんな仕事をしてきた。

012 色々です。社長秘書。大学教授のアドバイザー。官僚補佐。情報セキュリティアナリスト。原子力発電所の管理。暗号解読。

チャコ でもって私のカバン持つか!?

012 持ちます。

チャコ 何たくらんでる。

012 たくらんでません。

チャコ 原子力なんやら? 暗号云々? 情報あれこれ? そんな仕事してて何で私たちに近づいてきた。

タカ だから、俺たちの役に立ちたいんだってさっきから言ってるだろ。

チャコ 私たちの役に立っても何の得にもならないぞ。

012 損とか得とかじゃなくて、役に立たずにはいられないのがロボットの性さがなんです。

ケイ 私といっしょだ。ギャンブルしたくなくても、せずにはいられないのがギャンブラーの性でして。

ミー 私もいっしょ。血を吸いたくなくても、吸わずにはいられないのが吸血鬼の性でして。

012 吸血鬼?

ミー 私、吸血鬼の末裔なの。

0ー2 それは珍しい。もう今では世界に数人しかいないというデータがありますけど。
ミー そう。私、その数人のうちの一人なの。

0ー2 すごいじゃないですか！ お会いできて光栄です。

ミー わお……もう一度言って！

0ー2 お会いできて光栄です。

ミー ね、聞いた？ 私と会えて光栄だって！

タカ 聞いた聞いた。

ミー あのね、男たちはみんな私の正体を知ると逃げていくの。でも、あなたは逃
げない。

0ー2 どうして逃げるんですか？

ミー ほら、吸血鬼って昔のイメージが……ね？

0ー2 昔の話じゃないですか。

ミー その昔々がずっとついて回ってるの。

0ー2 世の中、そういうところありますからね。

ミー ありありよ。昔はよかったと思うよ？ なんかロマンがあったじゃない？ 今
はロマンも糞もない。みんな目の前の現実だけを見て私のことを、不気味だ、
気持ち悪いって言う。チャコだって。

チャコ 私がなんだ。

ミー チャコの不安の中に私、入ってないでしょ。

チャコ ミーに噛まれても死なないからな。

ケイ チャコの不安は生き抜くためのリアルな不安だからね。

ミー ほら、ロマンも糞もない。

チャコ この世の中、ロマンじゃ生き抜けない。

ミー もっと潤いがほしいのよ。私たちを受け止めてくれる潤い。でも、きっともう
すぐ私たちは消えてなくなる。なくなっても誰も気づかない。そして存在して
いたことすら忘れ去られる。

チャコ 別にミー自身が薄らぐわけじゃない。

ミー ふふ。でも、いいの。この人が、私に会えて光栄って言ってくれたから。あり
がとう。

012 あの、お聞きしていいですか？

ミー 何でも聞いて。

012 あなたに噛まれた人はどうなるんですか？ 僕の中にはまだその答えがないので教えていただければ。

ミー うん。噛まれても大丈夫。歯の痕がちょっと残るだけ。

タカ ちょっと痒くなるんだよ。蚊と同じ。

012 蚊といっしょですか。

ミー もう、あんた、すぐ蚊といっしょにするんだから。

タカ だっていっしょだろ？ 膨れて、ちょっと赤くなって、ちょっと痒くなる。自分でも言ってるじゃない。

ミー ンもうっ！ この人の前で言うことないじゃない！（と言っていじける）

タカ はは……。ま、俺らみんな色んな思いを抱えながら生きてるんでね、はは……

012 あなたにはないのですか？ 僕が役に立てること。

タカ 俺？

012 はい。

タカ 俺もいいの？

012 もちろん。

タカ えー、ちょっと考える。……。えー？何にしようかなあ……

ケイ 穴を掘るの手伝ってもらったら？

タカ それは俺の仕事。

012 穴を掘っているのですか？

タカ うん。

ミー どんな穴でも掘ってくれるわよ。井戸の穴から死体を入れる穴まで。

タカ 地味な仕事だけどね、俺が掘らなきゃ世の中困るんだよ。（と言ってどや顔）

ミー 見て、あのどや顔。

タカ だってそうだろ？

チャコ はいはい、そうそう。

012 大変な仕事なんでしょうね。

タカ まるでモグラだよ。毎日毎日、ひたすら地面を掘る。

ケイ 地上より穴の中にいる時間の方が長いよね。

タカ 掘っても掘っても出口なくって、掘れば掘るほど闇は濃くなって、明るい世界は背中からどんどんどんどん遠くなっていく。俺の人生に似てるんだなあ。明かりのない、光のない世界。延々と続く出口のない世界。お先真っ暗。

ケイ 人生の出口ねえ……ないなあ……

ミー 私もないなあ……

チャコ そんなもの、あるわけがない。

タカ、ミー、ケイ、チャコ、それぞれに思い描けない自分の未来を思い描こうとする。が、四人とも思い描けない。

タカ まあ、しよせん穴掘りは明るい世界を求めちゃいけないんでね……

ミー 愚痴ばかり言っていないで、考えないさいよ。

タカ そうだなあ……。ささやかでもいいからワクワクするような、そういうあれがあれば……

ケイ 何だそれ。

タカ それが俺にもわかんない。

012 あの、いつもどんなことを考えながら掘ってるんですか？

タカ いつも？ この地面を掘って掘って掘ってずっと掘って行ったら……あ……

ケイ 思いついた。

タカ 教えて。(手で地球を作って) 地球があるだろ。

ケイ 何。

タカ 今、俺たちがここにいます。その反対側ってどこ？

012 反対側。

タカ (地面を指差し) ここを掘って掘って掘って行きつくところ。どこ？

012 はい。地球は地殻、マントル、核という構造になっています。

タカ うん。

012 今、人間が掘れる深さは12キロまで。掘っても掘っても向こう側にはたどり着きません。

タカ いや——

ケイ 地球ってでっかいんだよ？

タカ わかってるよ！

チャコ 途中にマグマがある。

タカ わかってるよ、それぐらい！　そういうことじゃなくて、だから、ささやかでもいいからワクワクするような、なんていうか……そうだよ、夢だよ夢。さっき言っただろ？　人間は夢を大事にするって？

012 言いました。

チャコ それだよそれ。俺さあ、ちよっと夢、見ていい？

012 (にっこり微笑み) はい、夢、見ましょう。

タカ (小さく) やった！

012 反対側ですね？

タカ そ。

012 この緯度経度を地球の裏側に反転させると、南緯35度41分、西経40度18分となります。

タカ どこ。

012 大西洋です。

タカ 大西洋。どこ。

012 南アメリカとアフリカ大陸の間です。ウルグアイから東に約1000キロ進んだ海上。そこがちょうどこの反対側になります。

へ音楽「夢は大西洋」

※音楽は入れても入れなくてもよい。タイトルはイメージ。

タカ 掘って掘って掘って、最後に現れるのは、青い海……。

012 大海原です。街もない、人もいない、聞こえて来るのは波の音と風の音。

ケイ 追いかけて来る者もない。

ミー 後ろ指さす者もない。

ケイ 最高じゃん！

ミー クルージングしたい！

チャコ ちよっと行ってみたいかも……

タカ 俺は行く。俺の掘った先の風景をこの目で見る。(012に) 大西洋に行くには？

0-2 まずはウルグアイに向かいます。

タカ ウルグアイの情報ちょうだい。言葉は？ 何語？

0-2 公用語はスペイン語です。

ケイ スペイン語、誰か喋れる？

チャコ 喋れるわけがない。

ミー Buenos días. (ブエノス・ディ阿斯)、Buenas tardes. (ブエナス・タルデス)、
Buenas noches. (ブエナス・ノーチェス)

チャコ 何て言った。

ミー おはよう。こんにちは。こんばんは。

タカ それだけでできれば上等だ。治安は？

0-2 いいです。国民はフレンドリーで社交的。観光客も多く、まず安全とっていいでしょう。

ケイ 気候は？

0-2 温暖で、四季があります。南半球ですから季節は日本と逆です。

ミー 観光地は？

0-2 独立広場のある首都モンテビデオ。美しいビーチがあるプンタ・デル・エステ。どちらにもカジノがあります。

ケイ カジノ！ 行く！

0-2 コロニア・デル・サクラメントは石畳が美しい歴史の街です。皆さんを過ぎ去った過去へと誘ってくれるでしょう。

ミー ロマンチック！ 私にぴったりじゃない！

タカ ここからウルグアイにはどうやって行く？

0-2 飛行機で向かいます。

チャコ 飛行機！？

0-2 そしてモンテビデオの港から船をチャーターするのが一番いいかと。

タカ 飛行機、いくら？

0-2 安くて片道、十六、七万でしょうか。

ケイ たかっ。

タカ 今は無理だな。でも金を貯めて俺は行く。

ミー タカ、私も連れてって。美しい歴史の街を歩くの。ロマン溢れる石畳を歩くの。The

omo (ティ・アモ)、quiero morderte (キエロ モルデルテ)

チャコ 今度は何だ。

ミー 愛してる。あなたに噛みつきたい。

タカ お前、ウルグアイに行つてまで噛みつくのかよ。

ケイ 私も行く！ 誰にも追いかけられない自由な生活を手に入れるの。

タカ いよいよ逃亡生活、ジ・エンドかよ。

ケイ そしてウルグアイで新たに始まるギャングラーへの道。

タカ また始まるのかよ。

ケイ うん。ねえ、チャコもいっしょに行こ！

チャコ 私は……

ミー (012に) あなたも！

012 僕も？

ミー イヤ？

012 イヤではありませんが、

ミー だったら行きましょ。

012 えっと……

ミー あなた、お名前なんて言うの？

012 012です。

ミー それ、番号じゃない。

012 はい。いつも012という名前でニューヨークへ行っていました。

タカ・ケイ・ミー・チャコ ニューヨーク！

ケイ すごっ。

ミー でも012じゃ……

タカ よし、名前をつけよう。

012 名前？ 僕に名前ですか？

ミー つけよつけよ。

タカ 何がいい？

012 何でもいいです！

タカ タ飯のおかずじゃないんだから、何でもいいが一番難しいんだぞ。

ケイ (手をあげて) はい！

タカ はい。

ケイ ロボットだから「ロボ」とか、AIだから「アイ」とか。

チャコ お前はいつも短絡的だ。

ケイ はあ？

チャコ 捻りがないんだよ、捻りが。もっと頭を使え。

ケイ 何を捻る必要があるのよ。あんたはいつも複雑に捻り過ぎるから色んなことが不安になるのよ

チャコ はあ？

タカ (仲裁に入り) はいはいはいはい。

012 あの！

タカ、ミー、ケイ、チャコ、012を見る。

012 すみません、できれば、皆さんに近いというか、こう……皆さんと、いい感じで呼び合える名前がいいです。

タカ いい感じで呼び合える名前？ なんだ？

ケイ なんだ？

タカ タカ。

ミー ミー。

ケイ ケイ。

チャコ チャコ。

タカ とくれば？

ケイ とくれば？

ミー とくれば？

チャコ とくれば？

012 とくれば？

タカ ……ジョンだろ！

012 ジョン。僕はジョン。

チャコ 何でジョン。

タカ ジョンっぽいし。

チャコ ぽいか？

ミー ぽいかも。

012 ジョン……僕はジョン！

タカ ああ。君はジョン。俺はタカ。

012 あなたはタカ。僕はジョン。

ミー あなたはジョン。私はミー。

012 あなたはミー。僕はジョン。

ケイ あんたはジョン。私はケイ。

012 あなたはケイ。僕はジョン。

チャコ ……

ミー チャコ。

ケイ あんたの番よ。

チャコ ……

タカ チャコ、ほら。

チャコ ……お前はジョン。私はチャコ。

012 あなたはチャコ。僕はジョン。

タカ よし、ジョンもいっしょに、みんなで青い大西洋に行くぞ！

タカ・ケイ・ミー・012 おー！

チャコ 無理！

〈音楽「夢は大西洋」ここまで〉

タカ え？

チャコ 私、無理。

タカ 何で。さっき行きたいって言っただろ。

チャコ 無理。飛行機、乗れない……カバン……

タカ・ミー・ケイ・012 あ……

タカ いやいやいや。チャコ、今すぐ行こうってわけじゃないから。

ケイ そうそう、今はお金から行けないし。

タカ 一年後？ 二年後？ 三年後ぐらいには行ける気がするな。

チャコ 気がするだけだ。

タカ だけだって、だけでもいいじゃないか、夢なんだから。この夢があるだけで、俺、なんか世の中、明るくなったような気がするぞ？

チャコ 夢？ いい大人が夢なんて恥ずかしくないか？

タカ は？

チャコ こんな叶いもしない夢を――

タカ いや、もしかしたら叶うかもしれないだろ？

チャコ こんな私たちの夢が叶うわけじゃないか！ 何を浮かれてる。夢を見れば見るほど虚しくなるだけだ！

ミー そんな悲しいこと言わないでよ。

チャコ この世界こそが私たちの現実だ。

ケイ ンもうっ、何よ、せっかく盛り上がったのに！

チャコ 私はこのカバンたちと離れては生きていけない。私の現実はこの中にある！

ミー チャコ……

タカ (012に) 飛行機に乗ってる時間は？

012 約36時間です。

タカ チャコ、その時間だけ、長い長い人生でたった36時間だけ、カバンのない時間を楽しんでみないか？ 飛行機だから車がぶつかって来る心配もないし、地震の心配も洪水の心配もない。泥棒が入る心配も戦争の心配も食糧危機の心配もない。チャコの色んな不安、36時間だけ忘れて、カバンたちも自由にしてやらないか？

ケイ カバンたちも喜ぶよ。

タカ カバンがなくても俺たちがいるし。

ミー ジョンだっている。ジョンがいればめっちゃ安心じゃない？

チャコ カバンを投げ捨て、自由に身軽に走り回る自分を何度も思い描こうとした。でもできないんだ。自分が生きてることさえも不安になってくる……

間。

タカ そうだな……。ごめんよ。ちょっと気持ち盛り上がって、いい夢を見ようとしてた

……

間。

012 いいですね、人間。

タカ、ミー、ケイ、チャコ、012を見る。012、微笑んでいる。

012 未来が描ける。素敵なことです。

ケイ 好き勝手言ってるだけだね。

ミー 全然いい未来じゃないし。

012 僕たちロボットは自ら学習し、進化していきます。でも必要以上に進化してはいけないんです。もしとても優秀なロボットが現れて、人間が制御できない領域に達してしまったら、いつあなたちの敵になるかわからない。

ミー え？

一同、一瞬の緊張。

タカ いやいや、ジョンが敵になることはないだろ。

012 今は。先ではわかりません。知識や力を持ち過ぎたら暴走します。暴走したら止められません。

ミー そんなこと言わないでよ……

少しの間。

012 でも大丈夫です。そうなる前に終わりが来るんです。

ミー 終わりって、何？

012 今朝、011がシャットダウンされました。次は僕です。

ミー え……？

タカ シャットダウン……え、それってやめられないのかよ。

012 はい。

ケイ AIロボットなんだから、どこかにそれを止める答え、あるでしょ。

012 ありません。

タカ 誰がするの、その、シャットダウン。

012 僕たちをつくった人たちです。僕にはどうしようもありません。

一同 ……

012 僕は、皆さんのお役に立てたでしょうか？

タカ もちろんだよ。

012、嬉しそうに微笑む。

012 最後に会えたのが皆さんでよかった……

一同 ……

012 チャコさん、こんな私たちでもいいじゃないですか。自分で自分を見捨てないでください。あなたたちには未来があるんです。未来の正体なんて誰にもわからない。自由に思い描いていいんですから。

チャコ 私……見捨てない。

012 よかった。それでこそチャコさんです。

タカ いつ、シャットダウン……

012 さあ。わかりません……。でも……僕はまだ生きてます。

012、みんなの前で大きく手を広げて見せる。

へ音楽「まだ生きてる」

012 今、ここに存在しています。

タカ ……そうだよ、ジョンは今、ここに生きてる。

ケイ ……そうだよ、今、私たちの目の前にいる！

ミー 今、私たちと一緒にここにいます！

012 チャコさん、いっしょに行きましょう。まだ諦めないでください。方法があります。

ケイ あるの？

タカ 何。

012 ここから船で行きましょう。

タカ ここから船？

012 東京からモンテビデオまで三週間から四週間。旅費は八十四万から百四十万ぐらい。飛行機より高いですが、そのぶん優雅な航海の旅です。

ミー チャコ、船だって。

チャコ ……

ケイ チャコ。

チャコ ……

012 船の甲板にカバンいっぱい抱えて立つチャコさん、いいじゃないですか。

タカ 大西洋の真っ青な空の下、カバンいっぱい抱えて走り回るチャコ、いい、すごくいいと思う！

ケイ チャコ、行けるよ！

ミー いっしょに行こう！

チャコ 船が……

一同 ん？

チャコ 船が沈んだ時のためのものを、持って行ってもいいのか？

ケイ (笑って) また荷物が増えるのかよ！

タカ いい、いい！

ミー OKOK！

チャコ 行く！ 私も行く！

タカ よし、じゃいっそのこと東京からチャーター船で行こう。

ケイ は？ 高くつくわよ？

タカ いいのいいの。大丈夫。俺に任せろ。

ミー なんか頼もしいじゃない。

タカ だてに穴掘りやってるわけじゃないんでね。

ケイ 意味わかんないし。

一同、笑う。

タカ ジョン、一緒に行こうぜ。

0-2 本当に、僕も？

タカ どこをどう通ればいいのか俺たちわからないんだから。

ミー そうよ、ジョンがいないと迷子よ？

0-2 そうですね……。では、ご案内します！

タカ よし！ じゃチャーター船をつくるぞ。

ケイ は？ つくる？

ミー え？ 何？

へ音楽「船をつくる」

タカ、一つのベンチを中央に置く。

タカ ほら、ほかのベンチもここに持って来て。

一同、舞台中央にベンチを集めて組み合わせ、チャーター船をつくる。

ケイ え、これ、チャーター船？

タカ ああ。

ケイ ベンチ合わせただけじゃん。

タカ チャーター船だと思えばチャーター船だ。

チャコ あ……

ケイ 何。

チャコ チャーター船に見えてきた……

ケイ うそ。

タカ だろ？

チャコ 見えて来た！ チャーター船！

タカ ほらー。

ミー ホントだ。見えてきた見えてきた！

ケイ えー？ 見える？

ミー 見える見える

ケイ えー？（笑って）ま、いっか。

タカ よし、じゃ、ジョン。

ジョン はい！ では皆さん、乗ってください！

一同 はい！

一同、チャーター船に乗る。

へ音楽「大西洋へ」

012 では東京湾を出発します！

タカ 出航！

チャコ ボー。ボーボー。

012 目指すはパナマ運河です。

ケイ パナマ運河！

ミー パナマ運河！

012 太平洋を東に横断します！

タカ 太平洋横断！

012 フィリピン海を抜け、

ケイ フィリピン海通過！

012 グアムを通り、

チャコ グアム、バイバイ！

012 ハワイを通過。

ミー ハワイー、アロハオエー！

012 そしてパナマ運河へ！

チャコ あ、見えてきたパナマ運河！

タカ はい、パナマ運河に入りまーす！

012 まずはミラフローレスミラフローレス閘門こうもんを通過します。

チャコ 何？

ミー 何？

ケイ ミラ？ フロー？

012 はい、続いてペドロ・ミゲル閘門を通り、ゲイラードカットを通過、ここはガトウ

ン湖です。

ミー 何？

タカ ガツンコ？

チャコ ガツンコ！

012 そしてガトウン閘門、コロンの港を通過し、さあ、目の前に広がるのはカリブ海！

ケイ 知ってる！ カリブ海！

ミー カリブ海！

チャコ カリブ海！

012 そして、現れたのが大西洋！

タカ 来た！ 大西洋！

012 南緯35度41分、西経40度18分！

一同、感嘆の声。

タカ ここは大西洋！ 俺の人生の出口！

ミー 青い空に青い海！ 真っ赤な血はなくても生きていける！

タカ ホントかよ。

ミー ホントホント。

ケイ 大西洋のど真ん中、チャーター船でカジノし放題！

一同 ないないない。

ケイ ない？

タカ ない。

一同、笑う。

チャコ 青い空と青い海とカバンたち。私も来たよ大西洋！

012 僕も来たよ、大西洋！

一同、大西洋に感嘆の声。

ミー 広ーい！

ケイ 空ー！

タカ かもめー！

チャコ 青ー！

0ー2 海ー！

一同、大西洋の大海原を見つめる。そして、タカ、ミー、ケイ、チャコはストツ
プモーション。

0ー2 僕はジョン。ありがとう……ありがとう……

やがて0ー2、ピタツと動かなくなる。シャットダウン。

へ音楽「大西洋へ」ここまでへ

間。

タカ、ミー、ケイ、チャコ、ゆっくりと0ー2を見つめる。

チャコ ジョン、ありがとう。

そこは寂れた公園。

タカ ……絶対行こうな、大西洋。

ミー、ケイ、チャコ、頷く。

おわり。

2025年11月15日に修正、更新をしています。